

令和 5 年度 自己評価結果とりまとめ

1, 評価項目の達成および取り組み状況

つくしんぼ保育所

評価項目	取り組み状況
I、保育の計画性	今年度の子どもの姿にあった保育内容、計画をクラス全体で考える。季節にあった取り組みを大切にしそれに合わせて計画を立てていく。子どもの今の姿を捉えながら、環境構成を考えていく。 毎日、保育後にクラス担任間で話し合う時間を作り、その都度改善すべき点などについて確認するよう努める。
II、保育のあり方、幼児への対応	子どもの生活リズムを把握し、心地良く過ごす事の出来るように配慮をする。子どもたちの体調に留意しつつ発達や子どもたちに応じた保育を行うようにしている。
III、保育者としての資質や力・良識・適正	挨拶は明るく元気するように心掛け温かい雰囲気をもてるようにする 自分自身の長所や短所を理解し、課題を持って自身を見直す 日常の中でできたこと、頑張った事などを多く見つけて褒め、自信に繋げていく 子ども一人ひとりの性格、発達段階を理解し意識して保育に取り組む
IV、保護者への対応・守秘義務	子どもの話や家庭のことは帳面だけでなく必要な場合は直接会って口答で伝える。(面談を設ける等) 園での様子を出来るだけ詳しく伝えていくように心がけ、保護者との関係づくりもしていく。
V、地域の自然や社会とのかかわり	公園や散歩の道中に発見した自然物や生き物をみんなで共有して観察し、楽しむ。 自然に囲まれた環境をより活かした保育を再度見直し、取り組んでいく。 小学校との交流を大切にし、就学へ繋がるように理解して保育する。
VI、保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	研修を通して今すぐ活用できる点は改善していけるように努める。 自分の保育での課題や悩みを持ち、意欲的に研修に参加し学びに繋げる。 様々な事に関心を持ち、自主的に研修等で勉強し職員間でも情報交換出来るようにする。
VII、保育のあり方、3歳未満児への対応	一人ひとりの様子、視診などをチェックして一人ひとりにあった対応をしていく。(スキンシップ、思いを受け止める等) また、信頼関係も築けるようにする。健康状態を把握し、保育士間でも連携をとる。 日々、同じ日課で過ごすようにし、子どもが生活の中で出来ることを増やしていけるようにする。
VIII、地域における子育て支援	できるだけ行事がないときは一時保育事業を受け入れるようにする。 コロナが少しずつ落ち着いてきて行事(盆踊り、小学校行事等)参加も増えてきているので参加していきたい。
IX、食育の取り組み	子どもが楽しく食事をする環境づくりに努めていく。 子ども一人ひとりの噛む力の発達に合わせて離乳食を進めていく。 自ら食べようとする意欲を大切に、スプーンを持って食べる事を促す。 苦手な食材についても、体調等に問題ない場合はまず一口でも食べられるように、無理せず取り組んでいく。

2, これから改善したいこと

つくしんぼ保育所

評価項目	具体的な取り組み
I、保育の計画性	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達やその興味が向いているものを保育に取り入れる。 ・保育理念方針をパート職員も含めて全職員で考えて保育をしていきたい。 ・子どもひとりの課題にあったフォローを考えて、実行する。
II、保育のあり方、幼児への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士での話し合いをもっと増やし自分の考えはもちろん相手の考えも聞いて意見を出し合えるようにしたい。 ・自分で時間を意識し、見通しをもって行動できるよう時間の読み方にも慣れていく。 ・自己肯定感を高められる言葉掛けを意識する。 ・一人ひとりの様子を日々観察し、その子に合った言葉かけや援助を心掛け工夫する。
III、保育者としての資質や力・良識・適正	<ul style="list-style-type: none"> ・他クラスで保育を見せ合い、いい部分や改善策等話し合う機会を持つことでどもクラスの職員もその子どもの様子やクラスで取り組んでいることが共有し合え保育士としての意識も高め合う。 ・自分の役割、すべきことを理解し、責任を持って細やかな気配りができるようにしたい。
IV、保護者への対応・守秘義務	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から得た重要な情報は、職員間で共有しあい、徹底し外部には漏れない様、守秘義務を徹底する。 ・保護者の気持ちを大切にし、一緒に子ども達を育てていくという共通の目標を持って今後も信頼関係を築いていく。 ・保護者から相談された事は複数クラス担任間で共有した上でアドバイスや返答を返す。
V、地域の自然や社会とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老の日、クリスマスには地域の方々と交流し歌や制作物をプレゼントした。 ・夢ナリエの点灯式消灯式に参加したり、地域の行事等にも参加できる時は参加した。 ・ほっとステーションでイベント等利用しやすいように、環境整備をしたり利用されている方に挨拶をする。
VI、保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な事に関心を持ち、自主的に保育の事を勉強し保育の意識を高めたい。 ・研修で学んだ事をより多く日常の保育で生かしていく。 ・実地研修で頂いたアドバイスはすぐに取り入れ、実行した。 ・キャリアアップ研修では他園の職員と意見交流したり、各園の子どもの様子等、知ることができた。
VII、保育のあり方、3歳未満児への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・手あそびや歌の時間を多く取り入れたことで子どもが自分から歌う場面を多く見ることができた。 ・食事の時間では、好き嫌いや気分的な問題で食が進まない子に対し、できるだけ気分を変えて楽しく食べられるように心掛けた。 ・クラス間で一人ひとりの発達課題について話合ったり、会議等で職員間にて連携していく。
VIII、地域における子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は感染症等でなかなか地域の方との交流は出来なかったが、ホットステーション等の利用などは継続して行った。 ・よい子ネットで週3回や行事等、定期的に配信し日々の保育を伝える。
IX、食育の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・園の畑やプランターで夏、冬野菜を育て観察する事で食物への興味を持つ。 また、自分たちで収穫し調理し味わうことで喜びを共有できた。 ・旬の野菜を知り食べる喜びを伝えていきたい。 ・食事の様子など伝えながら離乳食の段階を上げる等の対応をすることができた。また、食材の大きさかたさ等保育士と調理師がこまめに連携できるようにしていく。